

図工・美術研究部テーマ

「造形教育はこれからも未来をつくる」

～身に付けさせたい力は何かを問う～

第1学年実践

材料に進んで働きかけ、新たな発想や豊かな表現を
生み出す授業展開

～スタンプ、スタンプ!～



印西市立いには野小学校 金子 友里菜

2024年8月22日(木)

成田市立大栄みらい学園

1 研究主題

「材料に進んで働きかけ、新たな発想や豊かな表現を生み出す授業展開」
～1年生「スタンプ、スタンプ！」～

2 主題設定の理由

本校は、平成12年に千葉ニュータウンの一番東側に宅地造成された地区に設立された。その後、平成31年4月に印西市立宗像小学校と統合したため、学区が広がり、スクールバスでの通学をしている児童もいる。教育目標として「心豊かに進んで学びたくましく生きる子どもの育成」を設定し、目指す児童像の一つを「豊かな心」とし、日々の教育活動に取り組んでいる。教育に対する関心が高い保護者が多く、読み聞かせ等教育活動へのボランティアにも積極的に参加していただいている。児童は、緑豊かな自然に囲まれ、落ち着いた環境の中で学校生活を送っている。

本学級の児童は、図画工作科の学習が好きな児童が多く、毎時間活動に意欲的に取り組んでいる。保護者においても、家庭での材料集めなどに大変協力的である。図画工作科では、年間を通じて個人で作品をつくり上げることが多く、友達と協力したり、広い場所を使って取り組んだりする題材は少ない。さらに、コロナ禍において、人と関わることに制限を受けながら幼児期を過ごしてきた。そのため、児童は、自由に素材を選んで試すことや、友達と広い場所で活動することに慣れていない。普段の図画工作科の時間とは違う場や活動の中で、自由に取り組んでよいと言われると、どうしたらよいか戸惑ってしまう児童もいると予想された。そこで、材料に働きかけ、気持ちをオープンにし、広い場所で主体的に活動させたいと考えた。また、学習指導要領の「A表現」の「造形遊びをする」においても、「児童が自ら材料や場所などに働きかけ、そこから発想していくこと」や、「材料の質や量、場所の広さなどが活動を大きく左右すること」、「児童の実態と材料や場所、空間などの関連を検討し、指導計画を立てることが重要である」と書かれている。他者との関わりや体全体を使う活動の楽しさを味わわせることで、本来もっているのびのびとした姿で新たな発想や豊かな表現を生み出す活動をさせたいと考え、本主題を設定した。

3 児童の実態

本時の学習を行うにあたり、次のような調査をした。

実施人数 25名 (男子: 13名 女子: 12名)

①すくは好きですか。

すき 88% まあまあすき 4% あまりすきではない 8% きらい 0%

②えのぐをつかうことは好きですか。

すき 72% まあまあすき 16% あまりすきではない 8% きらい 4%

③ともだちとかがつどうすることは好きですか。

すき 88% まあまあすき 12% あまりすきではない 0% きらい 0%

④おりがみをならべるかどうは、どうでしたか。

折り紙を並べるのが楽しかった ○○(作品の名前)をつくれてうれしかった たくさんの作品ができた 友達と協力するのが楽しかった 折り紙を折らないでツリーや人間の形ができた 色を選ぶのが楽しかった いろいろな作品があつてきれいだった 友達とやると心が温かくなった

アンケートの結果から、ほとんどの児童が図画工作科の学習が好きだということがわかった。理由として、いろいろなものをつくれるのが楽しいから、自分の思い通りにつくれるから等が挙げられており、工作や物をつくるのが好きな児童が多いことがわかった。一方で、あまり好きではないと回答した児童もいた。思い通りに作品をつくれなと感じていたり、何をつくったらよいかわからなくなったりする児童もいることがわかった。絵の具を使うことに関して、好きな児童が半数以上だった。絵の具の色や混色してできた色のきれいさが好き、お絵描きや色塗りが好き等理由も様々だった。

「スタンプ、スタンプ！」の実践の2ヶ月前に、同じ造形遊びである「いろいろならべて」の学習において、友達と一緒に協力しながら折り紙を並べる活動を行った。そこで、つくりたい物を考え、折り紙の色を選んだり、友達とアイデアを出し合ったりしながら活動をした。

あまり構想に時間をかけずにどんどんと作品をつくり上げている児童がいる一方で、構想が思い浮かばず、友達の側で見ていただけの児童もいた。

折り紙は、違うと思ったら、容易に並べ替えることができるが、スタンプは、一度押したら消すことができない。構想に時間がかかったり、思い切り活動することに躊躇したりする児童がいることが予想された。

4 仮説

仮説1

材料と関わる場の設定を工夫すれば、主体的に活動できるようになるだろう。

手立て① 場の設定

- ・のびのびと、主体的に活動ができるよう、広い体育館を使って活動する。
- ・児童同士の関わり合いが生まれるよう、各種コーナーを体育館の中央に設置する。

手立て② 材料の工夫

- ・画用紙ではなく、大きな紙（ロール紙、3m）にスタンプをすることで、ダイナミックな動きをしたり、思い切り活動したりできるようにする。
- ・材料コーナーでは、自由に材料を切ったり、輪ゴムで加工したりし、好きなスタンプをつくれるようにする。
- ・絵の具コーナーでは、グループごとに設置した基本の色以外に数色用意し、自分が使いたい色を自由に選ばせる。赤、青、黄、緑、橙を基本とした多くの色の絵の具を使用することで、様々な色が混在する色のきれいさや重なり気付かせる。
- ・お試しコーナーでは、使ってみたいと思ったスタンプを気軽に試し押しできるように紙と絵の具を用意する。やってみたいと思ったらすぐに挑戦できるようにする。
- ・主体的に活動できるようにするため、児童自身がスタンプに使いたい材料を見つけたり、選んだりできるようにする。



お試しコーナー



材料コーナー

手立て③ 材料と関わる時間の確保

- ・試す時間を十分に設けるため、前時にペットボトルキャップとメラミンスポンジを使い、四つ切り画用紙に個人でスタンプをする活動を行う。

仮説2

活動中に、意図的に友達と関わらせることができれば、新たな発想や豊かな表現が生まれるだろう。

手立て① グループでの活動

- ・児童同士で関わり合いながらスタンプができるよう、3～4人のグループで活動させる。

手立て② 材料の共有

- ・児童同士の会話や、造形のコミュニケーションから新たな発想が生まれるよう、スタンプの道具をグループの友達と共有させる。
- ・グループの友達と意図的に関わらせるために、個人の絵の具パレットの代わりにグループ内で共同のトレーを使わせる。

手立て③ ミニ鑑賞会

- ・ミニ鑑賞会を行い、よいところを見つけさせることで、他のグループのスタンプに興味をもたせたり、まねしたいところを考えさせたりする。

5 研究の実践

(1) 題材名 「スタンプ、スタンプ！」

(2) 題材について

本題材はA 表現(1)「表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」のア「造形遊びをする活動を通して、身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること」、(2)「表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する」のア「造形遊びをする活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること」をうけて設定した。

本題材は、型押しやスタンプ遊びをしながら、できた形や色を楽しむ活動である。手や足、様々な身近な材料を使っていろいろな写し方を試したり、面白い形を見つけたりすることを通して発想・構想する力を培うことをねらいとしている。

(3) 題材の目標

- ・いろいろな材料を写すことを通して、写った形や色の面白さに気付くことができる。
(知識及び技能)
- ・転がす・並べる・ずらすなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくる
ことができる。
(知識及び技能)
- ・身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思い付き、どのように活動するかを考えることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・写すことに関心をもち、いろいろな材料の写し方を試しながら、楽しく取り組もうとする。
(学びに向かう力、人間性等)

(4) 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな材料を写すことを通して、写った形や色の面白さに気付いている。 ・転がす・並べる・ずらすなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写すことに関心をもち、いろいろな材料の写し方を試しながら、楽しく取り組もうとしている。

(5) 指導と評価の計画 3時間扱い (本時2～3 / 3)

時	ねらい・学習活動	評価規準 (観点)	手立て
1 前 時	<ul style="list-style-type: none"> ・メラミンスポンジとペットボトルキャップを使い、四つ切り画用紙にスタンプをし、できた形や色を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。(思) ・いろいろな材料を写すことを通して、写った形や色の面白さに気付いている。(知・技) ・転がす・並べる・ずらすなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。(知・技) ・写すことに関心をもち、いろいろな材料の写し方を試しながら、楽しく取り組もうとしている。(態) 	仮説1 仮説2
事 前	〈使いたいスタンプ集め〉 <ul style="list-style-type: none"> ・前時を終え、どんな道具や材料で大きな紙にスタンプをしたいか考えさせる。また、廃材の場合はどんな加工をすれば、きれいにスタンプができるのかを考えさせる。 		仮説1
2 ・ 3 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・型押しやスタンプ遊びをしながら、できた形や色を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。(思) ・いろいろな材料を写すことを通して、写った形や色の面白さに気付いている。(知・技) ・転がす・並べる・ずらすなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。(知・技) ・写すことに関心をもち、いろいろな材料の写し方を試しながら、楽しく取り組もうとしている。(態) 	仮説2 仮説1

(6) 本時の指導 (2~3/3) ※準備、片付けを含めた2時間展開

展開

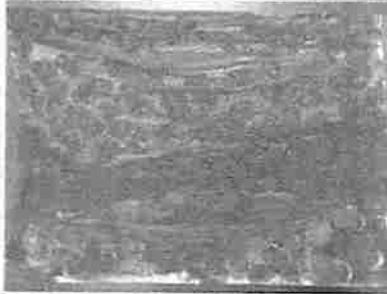
時配	学習内容・支援	児童の様子
10	・各種コーナーの準備、ロール紙の設置	・レジヤシートやスタンプ道具の準備
5	1 前時の振り返りをする。 ・前時のスタンプの掲示物から、どんな押し方があったか確認する。	T「どんな感じにスタンプを押したか覚えていたかな。」 C「スポンジは、ペタン」 C「ぼくは、シュッだったよ。」 C「ペットボトルキャップは、コロコロ」 C「ペタンもあるよ。」
10	2 どんな材料が使えるそうか考える。 ・教師の手本から、どんな材料が使えるそうなのか紹介する。 ・自分の持ってきた材料以外にも様々な材料や絵の具の色を使ってよいことを確認する。(仮説1) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・カップ容器 ・段ボール ・トイレットペーパーの芯 ・ペットボトルキャップ ・スポンジ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> いろいろなざいりょうでスタンプをたのしもう。 </div>	T「他にもいろいろなもので、スタンプができそうだね。」 T「これは、どんな物を使ってスタンプをしたのかな。」 C「スポンジ」 C「キャップ」 C「せんたくばさみ」 C「おはじき」 C「プチプチ」
30	3 好きな材料でスタンプ遊びを楽しむ。 ・3~4人のグループで共同制作させる。(仮説2) ・広く使えるよう体育館で行う。(仮説1) ・ロール紙にスタンプをする。(仮説1) ・絵の具は、多くの色を用意する。 ※各グループに5色(赤、青、黄、緑、橙)、その他クラス全体に4色(ピンク、水色、黄緑、茶色)(仮説1) ・各グループ共同の絵の具、トレーを使う。(仮説2) ・各グループに必要なに応じて材料を共有しながらスタンプをする。(仮説2) ・自分が持ってきた道具や共有の道具等やりたい材料を選び、スタンプをする。(仮説1) ・材料コーナーと絵の具コーナーを用意しておき、自由に選べるようにする。(仮説1) ・なかなかアイデアが思い浮かばなかったり、躊躇したりしている児童には、友達と一緒に同じものをスタンプしてみることを提案する。	C「青い絵の具で、海みたいにしたいな。」 C「夕焼けのようにしたいから、赤と黄色の絵の具を混ぜてオレンジにしよう。」 C「ハートの形のスポンジをつぶしたら、鳥の形になったよ。」 C「せんたくばさみをたくさん使って、草を作りたいな。」 C「わあ、たくさんスタンプしたら、手が虹色になったよ。そうだ、指でスタンプしてみよう。」 C「手に絵の具をつけてスタンプしたら、楽しそう。」 C「トイレットペーパーの芯にプチプチを巻いて転がしてみよう。」 C「よく絵の具が付くように、はけで塗ってから押してみよう。」 C「材料コーナーにあるあみあみを切っで、自分だけのオリジナルスタンプをつくってみよう。」

○児童A: 図画工作科が大好きで、アイデアがどんどん浮かんでくる。

※前時では、ペットボトルキャップに絵の具を3色つけてスタンプしたが、白い隙間を埋めるようにメラミンスポンジに絵の具をつけて色を伸ばした。オレンジ色の夕焼けと青い海のようなイメージでスタンプをしていた。

前時の活動

押す、こする等、たくさんの技法を使っていた。



ペットボトルキャップに絵の具を3色つけてたくさん押したよ。メラミンスポンジに色をつけてこすったら、絵の具が伸びて、海みたいになったよ。

赤と黄色を混ぜて、オレンジの夕焼けにしよう。



どんな模様ができるかなあ。

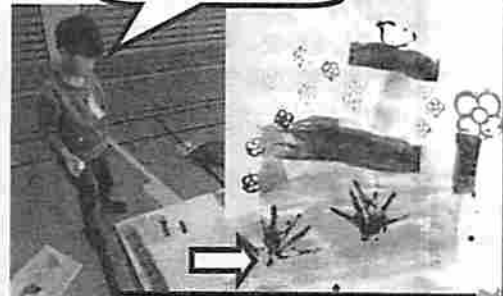
※すぐに、児童Aを中心に道具を見てどんな模様ができるか相談したり、絵の具の色を見てどんな絵ができるか相談したりしながら活動していた。メラミンスポンジをこすって絵の具をのばし、海や、夕焼けを表すことを思いついた。グループの仲間と協力し、「そのおはじきで花にしたら。」等、アドバイスもしながら、大きな1枚の絵にしていた。赤と黄色の絵の具を混ぜてオレンジ色の夕焼けをつくった。

みんなで協力して海と夕焼けをつくろう。



ようし、がんばってスポンジでこするぞ。

島が完成したぞ。



児童Aのアイデアでスタンプをした島

児童Aのアイデアから、海、夕焼け、島などグループのメンバー全員で協力しながら活動した。



スポンジを輪ゴムで結んだら、ちようちよになった!

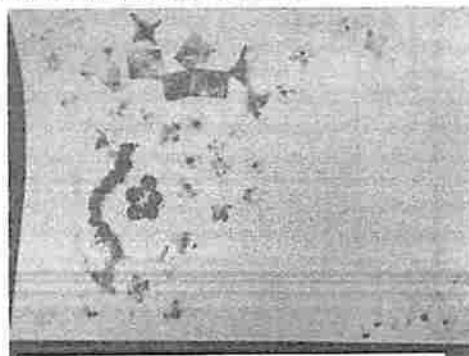
スポンジを加工してスタンプーちようちよになった

○児童B: 図画工作科が好きで、アイデアもあるが、手が止まっていたり、考えを表現することに時間が掛かったりすることが多い。

※前時の活動では、メラミンスポンジを使い、一つ一つ丁寧にスタンプをする様子が見られた。メラミンスポンジやペットボトルキャップを使い、花のような形にスタンプをした。



前時の様子



前時の活動
平面以外の場所を使い、押し方を工夫していた。



押した後に回す動きも見られた。

※グループのメンバーの一人が、積極的に活動している影響を受けて、最初からどんどんスタンプをしていた。絵の具コーナーからピンク色の絵の具を持ってきて、段ボールやペットボトルキャップに絵の具をつけ、躊躇することなくリズムよくスタンプをしていた。材料の加工も行い、段ボールでつくった三角柱を花のようにスタンプしていた。

※児童Bがピンクの絵の具ばかり使っているのを見て、同じグループの児童が、「ピンクだらけだ。もっと青を足してみたら。」と提案していたが、しばらくピンクの絵の具を使い、スタンプをしていた。その後、児童Bも青い絵の具を段ボールに塗り、スタンプをしていた。

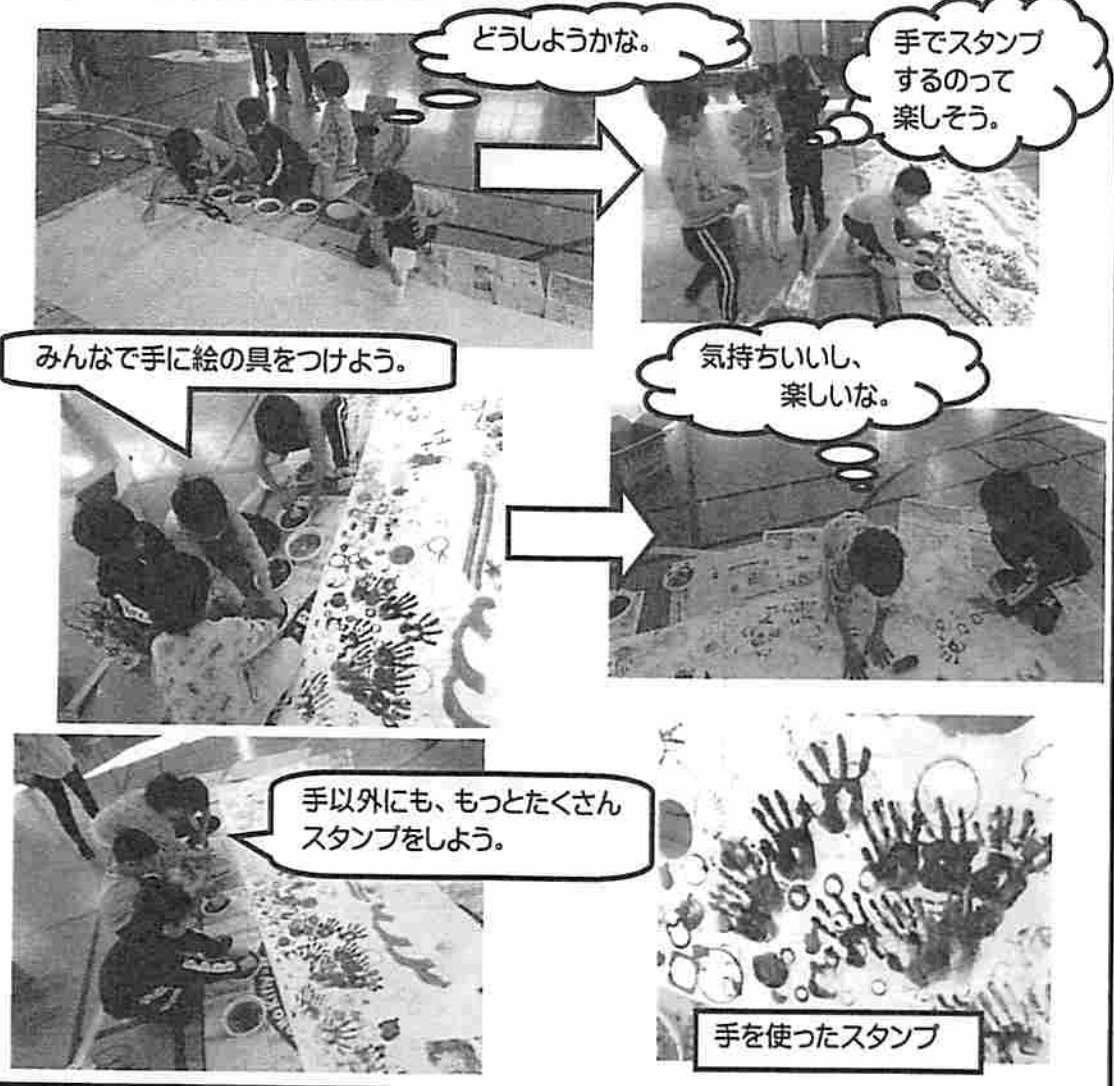
わあ、それすごいね！



同じグループの児童がスポンジに2色つけたり、転がしたりしている姿を見て、他の児童も「それ、すごいね。」と言って、まねをしながら、どんどんスタンプをしていた。

○児童C: 図画工作科の時間は、アイデアが思いつかず、手が止まってしまうことが多い。

※最初は何にしようか、友達の様子を見ており、近くにあったものでスタンプをしていたが、友達のまねをして手につけてからは、大喜びでスタンプをしていた。その後もグループのメンバーと一緒に手やその他の物で意欲的にスタンプをしていた。



- 5 4 ミニ鑑賞会を行う。
 ・別グループの作品のよいところを見つけさせる。
 ・音楽が流れている間、友達が押したスタンプを自由に見に行く。

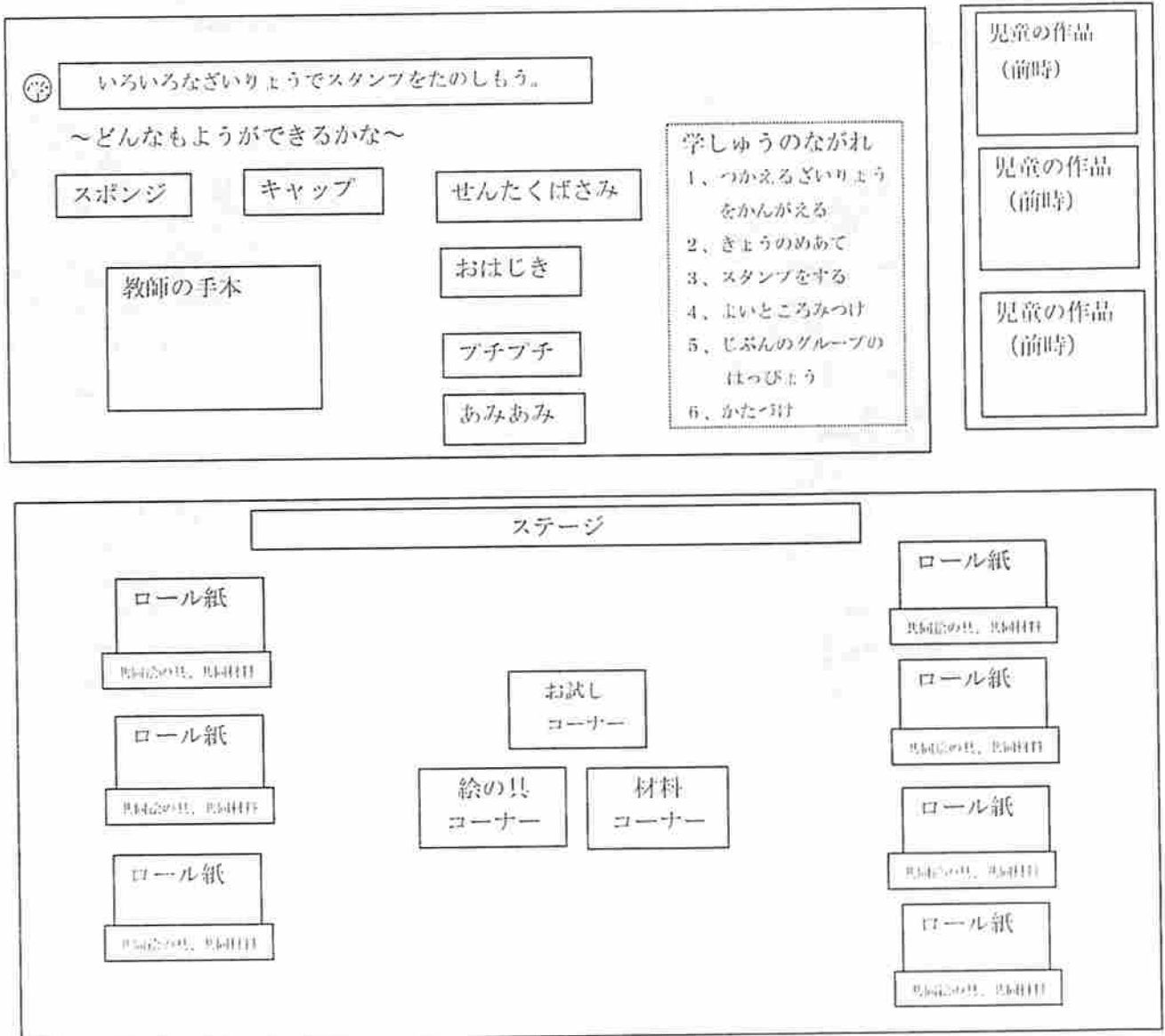
- 10 5 自分のグループのスタンプについて発表をする。
 ・友達と協力できたところや、工夫したところなどを伝え合う。

- C 「夕焼けと海みたいできれい。」
 C 「桜の形のスタンプが本物みたい。」
 C 「犬の足跡が面白い。」
 C 「手でスタンプをしたのが、楽しそう。」
 C 「お花がいっぱいでかわいい。」
 C 「カラフルできれい。」

- T 「自分のグループで、お友達と協力してやったところや工夫したところなどはありますか。」
 C 「スポンジを輪ゴムで結んで、ちょうちょみたいにしたよ。」

10	6 片付けをする。 ・グループの仲間と協力して片付けをする。	C「皆で協力して、海と夕焼けをつくりました。」 C「材料コーナーで、あみあみをはさみで切って、スタンプしたよ。」
10	場の復旧をする。 ・絵の具、スタンプ道具、ロール紙を片付け、床についた絵の具をきれいにする。	

(7) 板書計画・配置図



5 成果と課題

【成果】

仮説1について

- ・広い体育館で活動することにより、のびのびと主体的に活動に参加することができた。
- ・画用紙でなく大きな紙（ロール紙、3 m）にスタンプをすることにより、思い切った動きや活動ができた。
- ・多くの色を使うことで、選ぶ楽しみが増え、「次は何色を使おうかな。」「赤と黄色を混ぜて、オレンジにしよう。」「混ぜた色もきれいだな。」などという新たな発想が生まれた。
- ・使いたい材料を児童が考え、探すことにより、「次はこれを使ってみよう。」とわくわくした気持ちを生み出すことができた。また、たくさんのスタンプ道具を用意することで、「スタンプって楽しい。もっとたくさんスタンプをしてみたい。」という気持ちをもたせることができた。
- ・材料コーナーをつくり、段ボールや梱包材を加工させることで、主体性をもって活動させることができた。
- ・お試しコーナーでは、材料コーナーでつくった物や、気になるスタンプをすぐに試し押しができるようにすることで、安心してスタンプをすることができた。
- ・前時の活動において、スタンプの経験をさせることで、もっと別の物でスタンプをしてみたい、大きい紙でもやってみたいという意欲を掻き立てることができた。

仮説2について

- ・3～4人のグループで活動させることで、友達と協力してスタンプをしたり、スタンプ道具の貸し借りをしたりすることができ、新たな発想が生まれた。
- ・共同の絵の具トレイを使用することで、偶然できた混色を楽しんだり、「ピンクだらけだから青色を足してみたら。」「一緒に手に絵の具をつけよう。」などグループ内の友達との関わりが増えたりし、豊かな表現に繋がった。
- ・材料の共有をすることで、友達のスタンプをまねしてみたい、別の色ややり方を試してみたいと、新たな発想や豊かな表現に繋がった。
- ・ミニ鑑賞会を活動中や活動後に行ったことで、「どんな材料を使ってスタンプをしたのだろう。」「どんな押し方をしたのかな。」等、想像を膨らませたり、「面白い。」「まねしたい。」と友達のスタンプのよいところに気付かせたりすることができた。

別クラスとの比較

（前時の試しの時間を設けず、同じ場と材料で活動した。）

- ・すぐにお試しコーナーを利用し、試し押しをする児童が多かった。
- ・段ボールや梱包材を加工してスタンプをつくる児童はほとんどいなかった。

このことから、本学級の児童は、前時で材料と関わったことで、スタンプに対するイメージをもつことができたと考えられる。様々な物を使って広い場所で何度もスタンプをする活動が広がり、思いや自信をもって楽しみながら活動できた。

【課題】

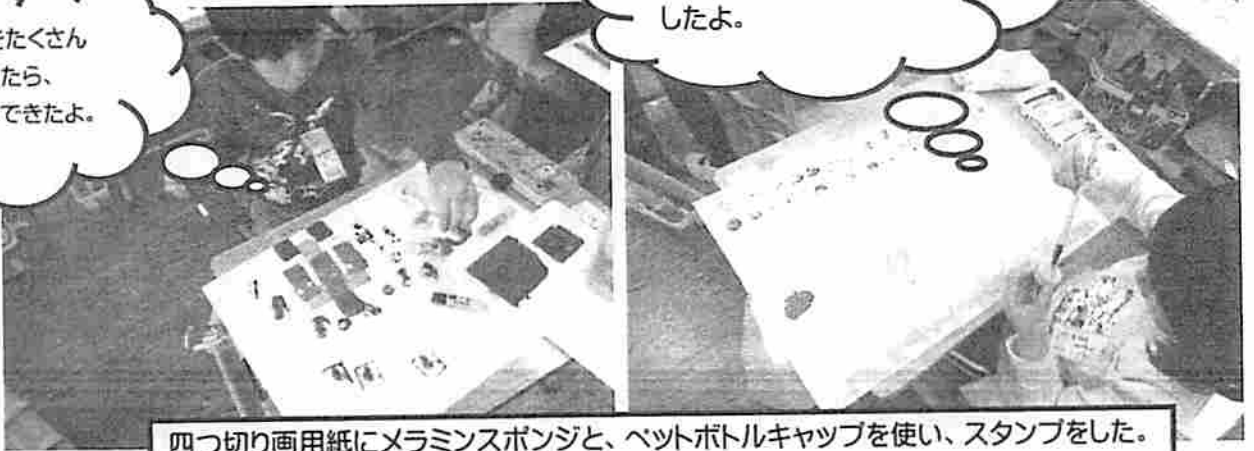
- ・材料集めの期間や、準備や加工する時間は、指導計画を吟味しながら、もっと十分に確保できるとよかった。
- ・やってみたいスタンプのイメージを膨らませるために、児童同士で集めた材料を紹介する時間などを設けるとよかった。また、事前に休み時間等を使ってスタンプ遊びをさせておき、本時にスムーズに入れるようにしてもよかった。
- ・本時の導入の時間では、前時までを振り返る程度にして、活動の時間を十分に確保できるようにしていきたい。

～資料編～

前時

スポンジをたくさん
スタンプしたら、
ロボットができたよ。

ペットボトルキャップを
2回押して、ちょうちよに
したよ。



四つ切り画用紙にメラミンスポンジと、ペットボトルキャップを使い、スタンプをした。
色や押し方を変えながら、スタンプをしていた。

本時

この中のスタンプ道具、
全部使っていいよ～。

箱の中身
廃材やおはしき等、グループごとに用意した。

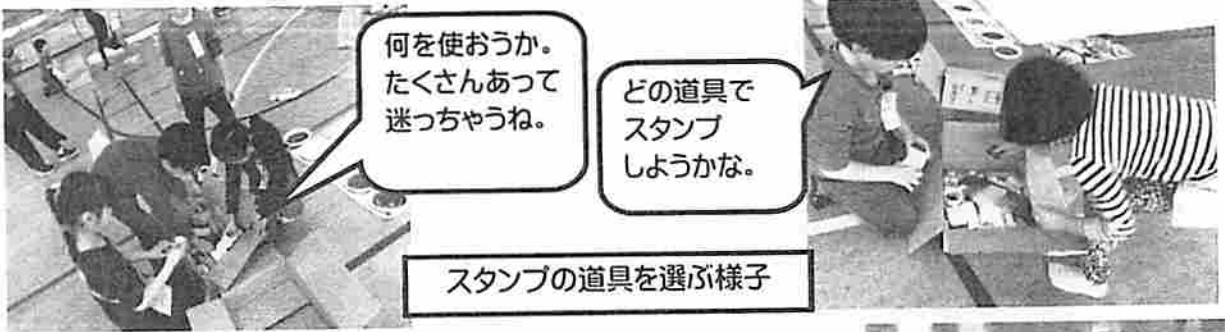
わ～！
やった～！！



導入でのスタンプの材料の紹介

何をしようか。
たくさんあって
迷っちゃうね。

どの道具で
スタンプ
しようかな。



スタンプの道具を選ぶ様子



広い体育館ならではのダイナミックな動き



ロール紙をふんだんに使い、思いっきりスタンプを楽しんでいた。



材料コーナー
 おはしきや、廃材の他、自分で加工できるよう、段ボール、輪ゴム、はさみ等を用意した。
 積極的に材料を選んだり、加工したりする様子が見られた。



鑑賞の様子
 各グループのまねしたいところや、よいところを見つけて発表した。
 また、自分のグループのスタンプの紹介もした。
 自分のグループのスタンプとは違うところがたくさんあって面白いということに気付いていた。



お試しコーナー
 前時を行わなかった別クラスでは、積極的に試し押しをする様子が見られた。